



対馬丸記念館と、遺族・サポーターを結ぶ、ふれあいの情報誌

対馬丸 通信

発行：(公財)対馬丸記念会

発行人：高良 政勝

編集：対馬丸記念会事務局

Tsushima maru press

平成 28 年 3 月 15 日発行 第 32 号

入館二十万人達成 平成 28 年 3 月 1 日 那覇市立宇栄原小学校

開館11年6ヶ月と8日目の平成28年3月1日、入館者20万人を達成いたしました。

平成18年1月に3万にを達成して以来入館者数の低迷が続いていましたが、平成26年6月に天皇、皇后両陛下のご来館(行幸啓)がマスコミに大きく報道され、県外からの入館者が増えたことが、大きく数字を押し上げました。

今回20万人目の入館者になったのは、那覇市立宇栄原小学校の新里那女子さん(12)で同小学校の団体見学によって達成されました。

同校と新里さんにはそれぞれ、到達団体記念証と入館20万人記念証ならびに副賞を贈呈いたしました。

記念すべき数字を県内しかも最も犠牲児童の多い那覇市内の学校と児童によって記録されたということは大変意義深いことです。

今後とも那覇市内、沖縄県内の小学校児童の来館促進で、途絶えることの無い平和教育に寄与してまいります。

宇栄原小の新里那女子さん(中央)と教諭の宮里未希さん(左)と記念証を贈った対馬丸記念会の外間邦子常任理事



入館20万人を突破 対馬丸記念館 新里さんらに記念証

疎開児童780人を含む宇栄原小学校に贈られた。同小学校への記念証は、引率1484人が犠牲になった対馬丸撃沈事件を伝える那覇市若狭の対馬丸記念館の入館者が1日、20万人を突破した。20万人目は平和学習の一環で同館を訪れた新里那女子さん(12)。記念証は、同館を運営する対馬丸記念会の外間邦子常任理事から新里さんへ、この日、新里さんを含め児童101人と教諭5人が入館した宇

資料整理スタート

対馬丸沈没70年・記念館10年と共に

学芸員 宇根一磨

当館は平成16年8月22日の開館以来、数多くの資料の収集や受け入れを行ってきたが、学芸員不在の時期が長かったことなど様々な理由から資料の整理が適切に行われていませんでした。

所蔵資料をざっと調べてみたら、1000近くの資料があり、展示している犠牲者の学用品や生活用品等の遺品の他、対馬丸記念会の前身である対馬丸遭難者遺族会から移管されてきた「海上慰霊祭」や「処遇問題」に関する資料、また「対馬丸記念館開館」に関する資料など貴重な資料が多くありました。

このような貴重な資料の劣化や散逸を防ぐことが急務となっていたため、当館開館10年を機に、資料を適切に整理し保管しようということで、目録作成からホー

ムページでの公開までを5年間かけて行う資料のデジタル化作業を平成26年度よりスタートさせました。

今年度で2年目になり、私は現在、遺族会の活動など当時のことを知る役員の方を借りながら、資料1点1点と向き合い、読み込みとカメラ撮影を行っています。20〜30年前の新聞記事や文書資料は今よりも文字が細かく、読むのも大変で、何より1000点近くの資料を整理するのはとても気が遠くなるような作業です。しかし資料には1点1点歴史があり、関わった人達全ての思いが入っているの、生きた資料と対話できることは学芸員として、とてもやりがいを感じています。

これからもしばらくは、1対1で資料と格闘する毎日が続くと思いますが、大切に向き合って資料の良さを引き出し、対馬丸や戦後遺族たちが歩んできた歴史を後世に伝えることができればと思います。

ホームページでの公開は、読み込みやカメラ撮影、資料のスキャンなどやるものがまだまだ多く、ずっと先になります。が、ぜひ楽しみにお待ちしております。と書いています。

琉球新報 平成 28 年 3 月 2 日 (※写真のみカラー写真に差し替え)

平成24年に発足した、つしま丸児童合唱団は、指導者の先生方の熱心なご指導で順調に発展・成長を続けています。

団員のメッセージと活動内容の一端を写真でお知らせいたします。



平成 27 年 5月30日(土) 結団式・歓迎式 6月13日(土) 交流平和祭 8月22日(土) 対馬丸慰霊祭 10月16日(金) 戦後70年平和記念コンサート 10月31日(土) ハロウィンパーティ 12月12日(土) 沖縄福祉保育専門学校学園祭	記念館企画展示室にて 小桜の塔にて 小桜の塔にて パレット市民劇場にて 記念館企画展示室にて 同校にて	12月19日(土) クリスマス会 12月23日(水) クリスマスコンサート ンプレイスにて	平成 28 年 1月23日(土) うるく童まつり	記念館企画展示室 サンエー那覇メイ	イオン那覇店にて
--	--	---	-----------------------------	----------------------	----------

『小さな戦争〜僕と弟の戦い〜』

那覇市立垣花小学校 五年 花岡 光



からこう言われました。『光は毎日小さな戦争を起こしている。いい加減にしなさい!』

小さな戦争?僕は確かに、毎日とは言い過ぎだけど、毎日のように弟とケンカをしています。それは食べ物や共有している服をめぐっての取り合いだったり、物をちらかしたり、宿題をしなかったりするダメな弟を叱って口喧嘩になったり、僕はお兄ちゃんなのに「光」って呼び捨てにするし、とにかく生意気で、だからいつもケンカになってしまっただけ。僕は悪くない。80%弟が悪いんだ!と思ってきました。それでもお母さんは続けて僕に話しました。「昔起きた悲惨な戦争も、今の光と同じで、人の心が生んだもの。思いやる気持ち、許す気持ち、優しい気持ち、愛する気持ち、歩み寄る気持ち、そんな気持ちが欠けていたから

戦争は起こってしまったんだよ。どんなに小さいな出来事も尖ってしまえば小さな戦争が起こってしまうし、小さなことは、いずれ大きなことに変わってしまう。お母さんは兄弟喧嘩がなくなると、兄弟仲良く助け合って、この家を平和にしたいよ。光、出来るかな?」

僕は「うん、わかった」と即答した。思い返せば、ケンカしても得したことなんて一度もない。ゲーム機でケンカしていたら、怒られて没収されるし、弟を泣かしたら、その倍僕はお母さんに泣かされた。大したことない出来事になった。腹を立てれば楽しくないし、あの時譲ってあげれば、ゆるしてあげられたら、きっと僕はもっと幸せだったに違いない。

だから、これからは弟に優しくしてあげよう。我慢できない時もあるかもしれない。正直自信はあまりない。でもそれは僕が僕の心との戦いだ。僕が変わればきっと弟も変わる。

外で一緒に遊んだり、一緒にTVを観たり、とにかく、お兄ちゃんのことを大好きになるように。そして、僕も弟が大好きになるように。僕は今この誓いの中で幸せな毎日を送っています。そして今年も八月二十二日、小桜の塔で七十一回忌となる対馬丸慰霊祭がとり行われました。平和を願い、僕は新たな気持ちで歌をうたっています。僕の歌声が遺族の悲しみを少しでも和らげてくれますように。戦争が二度と起こりませんように。優しい気持ちになれますように。皆の心が幸せでありますように。

僕は今、那覇市若狭にある対馬丸記念館で対馬丸の合唱団の一員となっておじいちゃんや、おばあちゃんたちが体験した悲惨な戦争が二度と起こらないように、平和への祈りを歌うことで届けています。対馬丸船は昭和十九年八月二十二日に太平洋戦争の中心攻撃を受け、乗っていた多くの人たちが犠牲となった船です。その多くが僕たちとかわらない子供でした。記念館の一階には亡くなったたくさんの人の写真が飾られています。僕は戦争はきらいだし、平和の大切さを充分知っていると思っていました。

しかしある日僕はお母さん

祈りをこめて

(第66回小学校・童話お話大会でブロック代表として発表)

四年間対馬丸記念館で

学んだこと

宜野湾市立

はごろも小学校 六年 木谷 楓



私は、つしま丸合唱団を二年生からやってきました。

最初のころは、立派なおねえさん達が見て「すごい」と思っていました。そして今私は二年生の時にあこがれていた、リーダーになりました。

私が対馬丸記念館で学んだ事は二つあります。

一つ目は、人前に出るのは苦手でしたが、みんなをまとめるリーダーとして、学校での発表などもなれてきたのです。

二つ目は「歌う」ということです。合唱団に入って、楽に声が出せる方法がわかりました。でもなかなか学校でうまく声が出せませんでした。

今は少し恥ずかしい気持ちもありますが、中学生になっても全力で頑張りたいと思います。

また、合唱団での一番の思い出は、お楽しみ会のビンゴやパーティーです。ビンゴを回し数字を言って大かつやくしたのを覚えています。ハロウィンパーティーも楽しかったです。それぞれの衣装に着替え、英語の時間にならった、歌を歌いながらお菓子をもらったのを覚えています。最後に大きな発表会。私はその時精一杯歌いました。ですが今年の楽しい企画が数回しかありませんから、その時間を大切にしていきたいなと思いました。

一番つらかった思い出は、慰霊祭で蝶をとばすことです。私は正直、昆虫はきらいですが、何回やっても嫌でした。でも戦争で亡くなった人

のことを考えると「蝶を飛ばすのがいやだ」という気持ちがあっ飛んだ気がします。

私は合唱団を抜けても、慰霊祭の時に蝶を捕まえ飛ばしたいなと思いました。

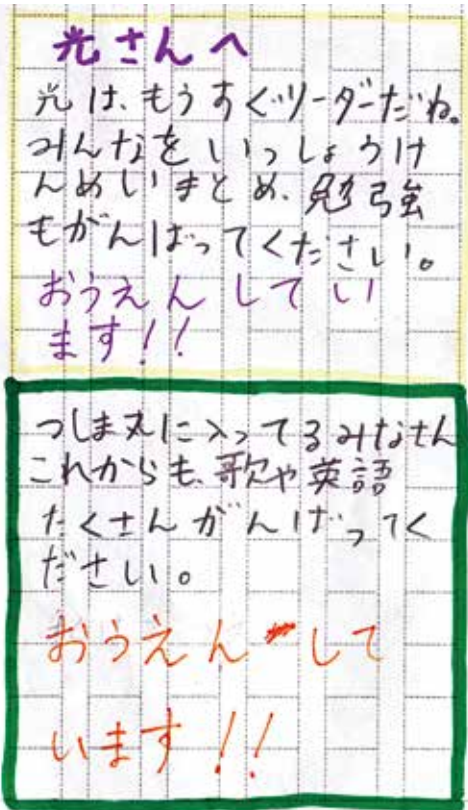
私たちを世話して下さい、記念館の宇根さん、英語あそびの直美先生、幸子先生、合唱を指導して下さい高里先生、かん奈先生、私たちが見えない所で働いて下さってありがとうございます。

中学生になっても、歌や英語も頑張ります。

本当に四年間お世話になりました。ありがとうございます。

この四年間、

楽しかったです。



平成 28 年 1 月 23 日 うるく童まつり/イオン那覇店



平成 27 年 10 月 31 日 ハロウィンパーティー/館内



平成 27 年 12 月 12 日 沖縄福祉保育専門学校学園祭

合唱団員募集

小学校 1 年生～ 6 年生

体験見学大歓迎

午前 9 時～ 10 時 / 英語あそび

午前 10 時～ 11 時 45 分 / 合唱

英語あそびは、体を使って遊びながら英語の音に触れ、英語に一番大切なコミュニケーション力を身につけています。

合唱活動は、平和に関する曲を中心に練習し、対馬丸慰霊祭他多くの場で平和の心を届けています。

みんな学校も学年も違いますが、楽しく仲良く活動していますので、ぜひ 1 度、体験にきてみてください。

申込みはいつでも受付していますので、対馬丸記念館へお問合せ下さい。

来館・視察

□平成28年1月9日

島尻安伊子内閣府特命担当大臣
(沖縄及び北方対策・科学技術政
策・宇宙政策) 記念館を視察。



□平成27年11月27日

内閣府政策統括官(沖縄政策担
当) 統括参事官室、総務・会計
担当大山研次参事官補佐、企画
調整第二担当松山謙祐主査、企画
調整第一担当付和気宏昭

□11月29日

公明党秋野公造参議院議員

□平成28年2月13日

民主党枝野幸男幹事長

□1月30日

国立研究開発法人海洋研究開発
機構(JAMSTEC) 篠崎資
志理事、国際海洋環境情報セン
ター(GODAC) 鷺尾幸久セ
ンター長

イベント

□平成27年12月25日

平成28年1月31日

第28回特別展

「全琉小・中・高校図画・作文・
書道コンクール那覇秀作展」

恒例となりました、夏休みに
児童・生徒が取り組んだ、沖縄
タイムス社主催の作品展の入賞
作のうち、那覇地区の秀作展が
開催されました。小学生作品(図
画101点・作文17点・書道16点)
中学生作品(図画70点・作文8点・
書道54点)が企画展示室を埋め
尽くしました。



□3月5日

第28回「ヤーがんじゅー講座」超
高齢社会における健康管理につ
いて」

首里城下町クリニックス第一・
第二理事長の田名毅先生(医学
博士)をお迎えして、高齢となっ
た遺族や近隣住民にとつて関心
の高いテーマをわかり易く講話
していただきました。

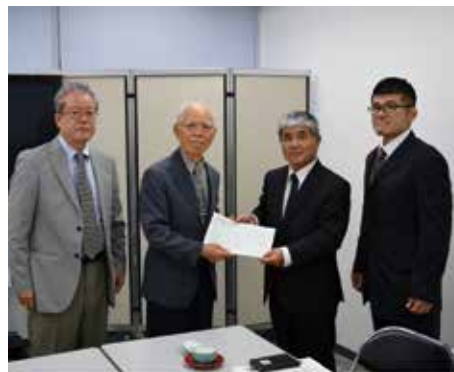


トピックス

□平成27年12月16日

奄美大島宇検村松井富彦副村長、
同総務企画課藤貴文主幹の両氏
が、宇検村対馬丸慰霊碑の事前
調査に来館されました。

前号でもご報告した通り、同
村に建立予定の慰霊碑の概要や
スケジュールなどの調整を当館
役員と行い、議会での予算承認
を経て28年度に建立される予定
です。



□平成28年2月24日

対馬丸平和祈念事業協議会(仮称)
事前打合せ

次年度から始まる、対馬丸平和
祈念事業協議会(仮称)の事前打
合せが行われました。

これは、内閣府の対馬丸平和祈
念事業の効果的な施策、記念館の
来館促進等について、内閣府、沖
縄県、公益財団法人対馬丸記念会
の三者で課題解決について協議す
ることを目的に設置されるもので
す。

今回は事前打合せとして、次
年度から始まる、スケジュールや
テーマなどについて意見交換が行
われました。

ご寄附

内藤啓子様(12月9日)

宝塚スターの故大浦みずきさ
んのご遺族、内藤様から彼女の
思い出の品々のオークションの



元宝塚トップスター
故大浦みずきさん
(赤毛のなっちゃん・中央公論新社より転載)

売り上げから再び多大なご寄付
を頂戴いたしました。度重なる
ご寄付に感謝し、故人の意思に
沿うよう使用させて頂いております。

平良啓子様(7月31日)
国際ソロプチミスト神戸様(11
月24日)
以上、大口寄付者

□平成27年10月23日

平成28年2月17日

青木忠、中津川市立阿木高校、沖
縄県人会、御冠船、金城節子、松
木路子、宮里依子、村越千代子、
森本和子、大慧曾教団、仲田行克、
幸地秀子、浜田恵子、青木忠、古
賀多鶴子、仲宗根泰昭、土肥義胤、
山本彩香、長井幸一、楠本文朗、
文字、中田昌宏、洋子、荊本和代、
酒井俊一、上谷川敏、村山弘行、
井町良治、羽田靖子、外間邦子、
松尾隆徳、平恵子、金丸錦央、前
口良治、毛利康俊、長納正義、片
田和宏、鈴木慎枝、林暁子、扇谷
道子、生田盛満様、以上の方々か
らご寄付を頂戴しました、お礼申
し上げます。